

(参考)

(福)京都社会福祉協会	中期経営計画 (平成27年度～平成29年度)
-------------	---------------------------

1 「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」

「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る各団体の「今後の方向性(存続, 自律化, 解散及び統合)」と「目標年度」を記載する。団体経営の長期的な目標であり、「中期経営計画」はこれらを実現するための工程表である。

方向性	自律化	目標年度	平成27年度
-----	-----	------	--------

2 「今後の方向性」に向けた基本的方針

「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る各団体の「今後の方向性」を実現するため、業務面や財務面等についての基本的な方針を定める。「今後の方向性」が「自律化」の団体については、「目標年度」までの方針となる。

業務面	利用者へのサービス提供の充実
財務面	各施設の老朽化に備えた計画的な修繕費積立
組織面	職員の資質の向上と人材確保
その他	積極的な情報開示及び透明性の確保

3 基本的方針を実現するための具体的取組(3年間の計画期間中における具体的取組)

- ① 「2 「今後の方向性」に向けた基本的方針」を実現するための具体的取組を記載する。
- ② 取組ごとに、各年度の目標となる指標及び目標値を設定する。
- ③ 計画期間の最終年度(平成29年度)の目標値が中期経営計画全体の目標値となる。

(1) 業務に関する取組

目標 「利用者へのサービス提供の充実」						
取組内容	児童館について、定員を大幅に超えた受入れを行っている施設があるなか、施設ごとの特色ある取組を進めるため、利用者ニーズの把握に努めより充実したサービスの提供を図る。					
○指標	児童館利用者数					
採用理由	利用者数を通じてサービスの拡充の指標とする。					
目標値	H25(実績)	H26(見込)	H27	H28	H29	(単位：人)
	111,242	115,000	117,000	119,000	121,000	
実現方法	利用者にはアンケートを用いたニーズ調査を行い、サービスの拡充を図る。					

(福)京都社会福祉協会	中期経営計画 (平成27年度～平成29年度)
-------------	---------------------------

**(2) 財務に関する取組**

目標「各施設の老朽化に備えた計画的な修繕費積立」						
取組内容	建設から30年から40年を経過する施設が多く、大規模改修や建て替えを前提に計画的に必要な資金を留保する必要があり、施設間での資金融通できるシステムを構築し、施設整備計画の策定を行う。					
○指標	その他積立金					
目標値	H25(実績)	H26(見込)	H27	H28	H29	(単位：千円)
	628,720	690,000	760,000	830,000	900,000	

**(3) 組織に関する取組**

目標1「職員の資質の向上」						
取組内容	<p>職員の資質の向上に当たって、現在行っている経験年数に応じた研修会や専門分野別の勉強会の開催回数を増やすとともに、法人の経営・運営に必要な人材の育成及び職員の資質向上の為の教育システムを発展させる。</p> <p>それぞれの施設及び役職員が持つ情報や知識、ノウハウ等を法人全体として共有し、活かすことができるよう、これまでの人事異動の点検・総括を踏まえ、現在ある人事異動制度を「キャリア形成」の観点から積極的に推進する。</p> <p>法人の将来を担える人材育成のため、保育園における若年層の定期人事異動について検討する。</p>					
○指標	職員研修					
目標値	H25(実績)	H26(見込)	H27	H28	H29	(単位：回)
	20	21	22	23	24	

目標2「人材確保」						
取組内容	<p>大学・専門学校などの教育機関へのPRや就職フェアなどを活用した募集活動を行い保育士や児童厚生員の人材確保に取り組む。</p> <p>教育機関からの実習生を積極的に受け入れる。</p> <p>経営感覚に長けた職員の育成のため、熱意があり能力に優れた職員の内部登用や、経営についての経験や知識のある人物を公募採用するなど外部からの登用も検討する必要がある。</p> <p>法人OG・OBの経験やノウハウを発揮できる場・事業を設定し、その人的資源の活用を図る。</p> <p>職員が仕事と家庭の両立ができるよう「働きやすい職場づくり」を目指し、育児休業や年次有給休暇の取得促進を図る。</p> <p>職員間の人間関係を良好にし、維持していくための組織風土づくりに努める。</p>					
○指標	正規職員採用数					
目標値	H25(実績)	H26(見込)	H27	H28	H29	(単位：人)
	14	16	18	20	22	

## (4)その他の取組

目標 「積極的な情報開示及び透明性の確保」						
取組内容	平成26年1月から、会計業務を税理士法人に外部委託しており、税理士のチェックによって会計処理の透明性を確保している。 監事監査および事務局による監査を強化し、外部監査や第三者評価についても積極的に活用し、その結果の開示を行う。					
○指標	第三者評価受診（累計）					
目標値	H25(実績)	H26(見込)	H27	H28	H29	(単位：箇所)
	12	15	16	17	18	